



令和4年10月16日

大町自治会
会員 各位

大町自治会
会長 高松光子

防災用ウォータータンクの配付について

秋季さわやかなよい季節になりましたが、会員の皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東京都は、地域における防災意識の醸成と地域防災力の向上を図るとともに、地域コミュニティの活性化につなげていくことを目的として「自治会による防災対策普及啓発事業」を実施することにより、助成金を交付する支援策を実施しています。

大町自治会では、この普及啓発事業に参画して地域の防災力の向上を図るため、災害時に必要な用具を各世帯に配付します。

1. 配付用具

防災用ウォータータンク（10ℓ）・・・1個

2. 配付時期

令和4年10月～11月

3. 班長さんへのお願い

今回も班長さんにはお手数をおかけします。

防災用ウォータータンクが購入でき次第お届けしますので、会員の皆さまへの配付をお願いします。

地震は必ずやってきます！

- ・・・「備えましょう！」「安全な行動をしましょう！」・・・
- ◆身の安全を最優先に冷静な行動
 - ◆非常用品備蓄の習慣化
 - ◆近隣の給水所・消火器位置を把握
 - ◆通電火災の学習
 - ◆安否確認標識掲示の再認識
 - ◆防災カードの整備



大町自治会より



● 災害に対する自宅での備えは万全ですか？

東京にはさまざまな災害リスクが潜んでいます。いつもの暮らしに少しだけ手を加える、小さな備えの積み重ねが、多くの命を守ります。今からできる準備を進めましょう。

● 「日常備蓄」で災害に備えましょう

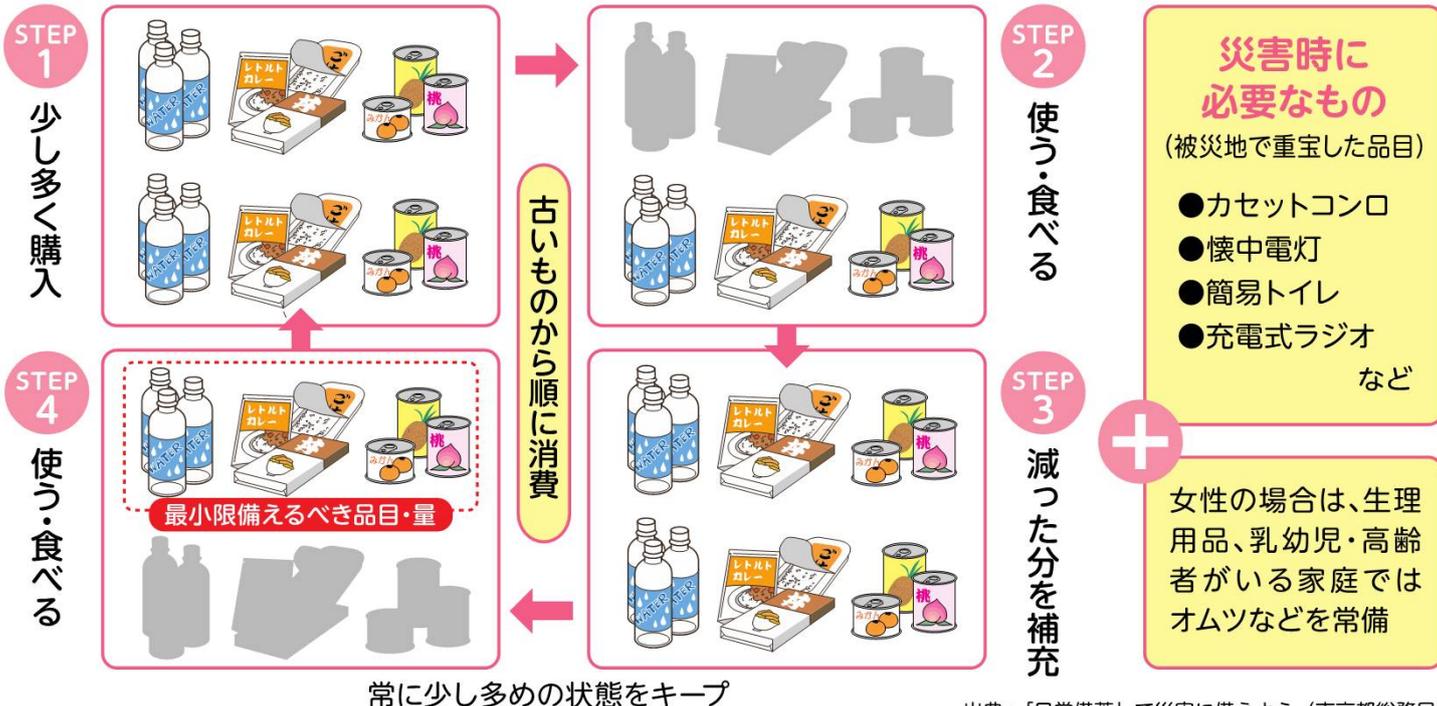
「日常備蓄」は、災害に備えて特別な準備をするのではなく、普段使っているものを常に少し多めに用意しておくことです。

備蓄品の種類や量は、家庭構成や家族状況によって異なります。まずは3日分、できれば1週間分を目標に備蓄を進め、災害に備えましょう。



東京防災公式キャラクター
「防サイくん」

東京都で勧めている日常備蓄のイメージ



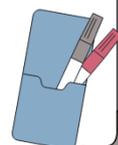
出典：「日常備蓄」で災害に備えよう（東京都総務局）

大町自治会から会員の皆様へ

地震は必ずやってきます！今回は、東京都の防災対策普及啓発事業助成金にて各世帯に「防災用ウォータータンク」をお配りしますのでご活用下さい。

・・・「**備えましょう！**」「**安全な行動をしましょう！**」・・・

- ◆身の安全を最優先に冷静な行動
- ◆非常用品備蓄の習慣化
- ◆近隣の給水所・消火器位置を把握
- ◆通電火災の学習
- ◆安否確認標識掲示の再認識
- ◆防災カードの整備



東京都からのお知らせ



災害はいつ起こるかわかりません。

日ごろの備えが大切です。

家族や地域の方々と、できることから始めましょう。

「備えよ、常に！」

東京都知事 小池百合子

地震発生

首都直下地震が発生すると、
建物倒壊や火災など様々な被害により、
生活に大きな影響がでます。



↑詳細はコチラ

発災直後

- ・揺れによる**家具の転倒**により下敷きとなる可能性
- ・電力、上下水道、ガスなど**ライフライン**が途絶し、生活に大きな支障
- ・マンションでは水道が供給されても、**当面トイレ**が利用できない可能性
- ・**携帯電話**はつながりにくく、スマホの**バッテリー**が切れると家族との連絡が困難に

・家具転倒防止対策や災害時の家族との
連絡方法※の確認を行いましょう。



災害用
伝言ダイヤル
171



※ 災害用伝言ダイヤル(171)等で、家族の安否確認メッセージを登録・確認できます。

3日後

- ・電力が復旧した際、倒れた電気ストーブや照明器具に接触する可燃物から**通電火災**が発生する可能性
- ・被害状況によっては、**ライフライン**の復旧や**計画停電**が長期化する可能性

・避難時は、必ずブレーカーを落としましょう。



- ・避難生活の継続により**ストレス**などが増加
- ・スーパー・コンビニでは、**生活必需品の品薄状態**が継続
- ・点検終了まで**エレベーター**が使用できず、外出等が困難

・避難生活に備え、水や食料、携帯トイレ、
常備薬等を備蓄しましょう。

